

バレイショ輸入の対応を県議会へ要望



要望書を受け取る日高議長（右から2人目）

9月15日、長岡副町長が県内の主要なバレイショ産地10町を代表して、鹿児島県議会に対し生食用バレイショの輸入解禁に関する緊急要望書を提出しました。

この中で、産地の立場を守るため、国が進める生食用バレイショの輸入解禁について慎重に対応するよう、県議会からも国に対して求めているだくことを要望。日高滋県議会議長は、「県議会も地域の実情や要望の重要性を十分認識している。国への働きかけも含め、要望事項の実現に向けて一緒に取り組んでまいりたい」と要望に対する理解と協力姿勢を示しました。

現在、米国産バレイショは、加工用に限り輸入が認められています。国では生食用を含めた輸入について具体的な協議が進められています。

輸入が解禁された場合、ジャガイモシストセンチュウなどの病害虫の侵入リスクの高まりや価格の下落および不安定化など、本町をはじめとするバレイショ産地の農業経営へ大きな影響が懸念されます。

LINE登録のお願い

町の情報を発信している町公式LINEの登録をお願いします。
公式LINEでは、町の情報やイベント、防災情報などを配信しています。

問い合わせ先

役場総務課秘書広報係
☎(86) 11111「直通」

町公式LINEを
友だち追加しませんか？



＼ 町民の4人に1人が登録中 /
友だち追加はこちらから



- 登録するとこんなメリット
- ☑町の情報をスマホで手軽に入手できます。
- ☑町外でも災害・緊急情報を確認できます。
- ☑イベント情報なども配信しています。